

サイクル インフォメーション

かわら版

2016年11月号



日本原燃

発行元：地域・業務本部
TEL:0175(71)2002

ホームページでも放射線の基礎知識などを紹介しています。
「日本原燃広報誌」で検索するか、右のQRコードを読み込んで下さい。



原子燃料サイクル施設の周辺環境における放射線の状況を把握するため、青森県および当社では、モニタリングステーション等による空間放射線率等の監視を継続的に行うとともに、さまざまな試料を採取し、分析・測定を行っています。

平成27年4月から平成28年3月の結果は、放射線の専門家や地元自治体・農漁協など各種団体の関係者等で構成される「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議（評価委員会：平成28年7月26日開催、監視委員会：平成28年9月6日開催）」において審議され、「概ねこれまでと同じ水準であった。原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった。」と評価・確認されました。

空間放射線の監視

環境試料の採取

分析・測定

施設やその周辺の放射線・放射能を常に監視しています。水や土、農畜海産物などの分析・測定を行います。

審議・評価、公表

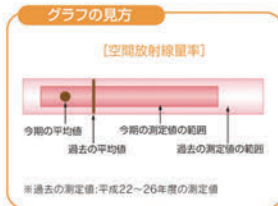
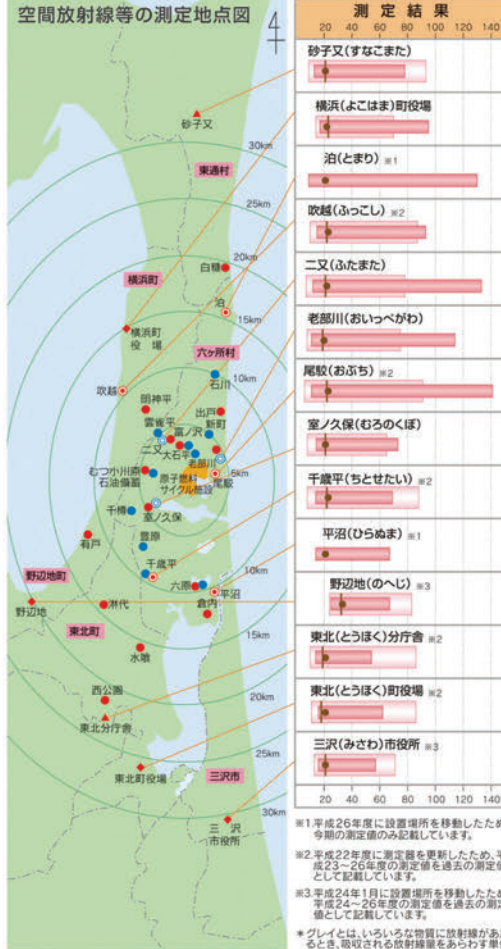
青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議で審議・評価し、青森県広報誌、当社広報紙等で公表します。

環境試料の前処理を行っています

これは、海産物に含まれている放射能濃度を調べるため、六ヶ所村前面海域から採取したヒラメを前処理したものです。可食部と非可食部に切り分けたのち、可食部のみを乾燥・灰化し、試料に含まれている放射能濃度を測定します。5枚おろしなどの難しい包丁さばきに苦戦しながらも、慎重に作業に取り組んでいます。



空間放射線等のモニタリング結果



凡例

区分	限	事業者
モニタリングステーション及び精算線量計	●	●
モニタリングポスト及び精算線量計	◆	◆
モニタリングポスト	▲	▲
精算線量計	●	●

環境試料中の放射能のモニタリング結果

